

浜松宣言

新たなる展開に向けて、公園レクリエーション世界大会と浜名湖花博を成功させた浜松から

21世紀を迎え、都市社会では環境に対する配慮が最も重要な課題となり、新たな環境創造に向けた展開が求められています。人々のライフスタイルの更なる向上、都市活動の活性化、産業や経済の発展などにとってさまざまな視点からの価値の再認識や新しい評価の枠組みが必要とされています。一方で、環境面への配慮では生物多様性の保全などをはじめとする施策が急速に展開されています。

私たち公園・レクリエーションの関係者にとって、公園から都市へ、都市から環境へという戦略的かつ連続的な視点が必要です。そのため、自然の緑や公園創造に大胆な発想の転換が必要とされ、現代のあらゆる英知を結集した緻密な実践が求められています。

ここ静岡県浜松市で開催された「公園レクリエーション世界大会 in 浜松」において、私たちは緑や公園・レクリエーションを取り巻くさまざまな課題を多面的に討議しました。その結果、現在急速に進化している都市環境をみどりのルネッサンスという観点から捉えなおし、公園・レクリエーションの将来を展望し、新たなる展開に向けた具体的な行動に結び付けることが不可欠であるという結論に至りました。

私たちは次のような事項が重要であるとの合意に達し、基本的な考え方を共有することができました。広く世界の公園・レクリエーションにかかわるすべての人々に発信し、広範な連携の下に、21世紀の持続的で、住みよい緑の都市づくりに貢献するための共通の責務として、次の3つの行動指針を私たち参加者の総意といたします。

新たなる展開に向けた行動指針

1. 私たちは、緑や公園資源の多面的な価値を積極的に活用し、長期的かつ世界的な視野から持続的で住みよいまちづくりを推進します。
そのために人と自然の共生を基調とした環境創造を共通の責務とします。
2. 私たちは、新たなる共通の活動の場（プラットフォーム）の構築に向けて積極的に取り組みます。
そのために地域住民、行政、企業、関連分野とのパートナーシップの確立、能動的で魅力のある運営計画の実践、および持続的で汎用性のある技術の開発を推進します。
3. 私たちは、意欲的で質の高いパークマネジメントの実現に向けて、有能な人材の育成を含む戦略的な仕組みづくりを目指します。
そのために緑や公園の価値の再評価を行い、新たな公園像を構築します。

2004年9月10日

公園レクリエーション世界大会 in 浜松
第46回日本公園緑地全国大会および第20回IFPRA世界大会

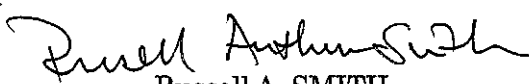
起草委員会


Christo COETZER

半田真理子
Mariko HANDA


Torgeir SORENSEN

薬水肇
Hajime KOSHIMIZU


Russell A. SMITH

北脇保之
Yasuyuki KITAWAKI


James PETERSON

田邊昇孝
Shougaku TANABE

田代順孝
Yoritaka TASHIRO